百人一首拾穂抄補注

四

大中臣能宣

伊勢祭主 従五位上 輔道の孫

出羽守 天児屋根命より廿八代正五位上輔道の孫

神祇大副祭主 頼基子也

大中臣姓ハト部 祝ハ天児屋根命十八世孫常盤大連公ハ人中臣祓ハ欽明天皇ノ御時ハ始メ賜ハ大織冠の河内家の作なり。

大織冠藤原三男鎌足大連ハ。意美麻呂赤中臣しかりく。神護景雲二年に意美麻呂の子清麻呂中納言小倉卿大中臣ハ可多能祐大連のこれ初ハ

[illegible]集奥書に云ふ 嶺渡大夫[illegible]系譜によれば神祇大副
[illegible]拾芥抄云 四位 正暦三年八月九日辛 [illegible]

八市司抄云 [illegible]宣示和宣の中より一流あり
[illegible]

○十訓抄第一云 [illegible]中原[illegible]宣又新琴[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

心れいちふこうこう行○こ藏五位和泉式部いうかてるれ心をあ
さうんりうはなぐめりうさそしらうに門

藤原義孝

号後女房　兄拾賢号前少将敬也

御母ぶこ。謙徳ゐ公三男。母中納言伊尹代内親王女。右少将従
五位下春宮亮こと。某ゐ死。後冷泉院御代。死ぬ。まことにほのかわち
れさうくよりいみじく道心おほして。法華経をいとうと
くよみたてまつりけり。やがてかなりあやうしとのこおぼさるること。
他ゐ親類ゐ。天延二年九月十六日辛酉。疱瘡ゐ。
廿ゐ。亡者歌ゐ。義孝卿の将　よろづよりはるかに
わたり門海ゐかぐよいゐ。しもやいまゐ死ゐ。しも
こづくこうなせうしいうとこれけど。妹女

母ゐ。ほ於ゐ。ほ於ゐ。同母ゐ。
和泉式部。
蓬莱宮義月。今ハ遊極楽界中風。これ聖縁阿周
陀仏ゐ。
ちぐそめ。かりぐ。命さ。
ほ於ゐ。こ。ゐ。
四拾ゐ。ほ於ゐ。
ほ於ゐ。
ゐ。
ゐ。
ゐ。
ゐ。

[illegible]

藤原實方　時信卿の弟也　従五位下

山城の介一条大宮の師尹卿の孫。侍従実方の時の也。母は
左馬頭源朝臣の女。右中将正四位下陸奥守兼任国奉
十二月廿日任国　卒　親兄弟共に花山院の保元
年正月廿六日於任所陸奥卒　中国之方到来し。

神中将実方は中納言[illegible]
たゞ小中将ふうく位也。仍て陸奥中れし山位
国れ有いぶ。金吾将軍が合戦[illegible]国中[illegible]水澤
[illegible]
陸奥の実方は成し国付て殿上人なのつしが
殿上ゆく[illegible]
しと[illegible]
[illegible]
いやらんと[illegible]
[illegible]
[illegible]

してはうかさわるくはあるふめりうくされすてまふく
うせ人せうく。結世結ぜ。宮方中れれ吾ちいみち
乃行くあく結れあるうく作一字結。塚ちや義人
のはしもなり結ぜで陸奥ちふ成うしいくかくた
うりうがぜ山せまでも敵ち一ぎりの基盤を一た
おとぐ。者れのぐるぐるくくふりなぐ結るなれ。
宮方の中れれ結ぜ成ちはぬたちんのうてお
するるとも塚小結ぐ表ぐ。ぐ一ぐ京の世れ
人ち結ぐ結ぜ。山物ぜ。武結ぜ。宮方笠浦の名相神
乃おをとてちるのくしてとりる一ぐりれぐ神おふて
馬ちまれく宮方卒すちぜ。ぐらに宮方れ敵を社

乃かくうにあるちく。勢長今表傷結ぐ。みち
のくあく敵き野中に宮方れ塚ちくありけれ
に落ぐ。ありしくちるとみく。くちちうせぬちるあ中
とぐ失ちく抜形れすふかみぐられちあ
結結師ぐ結るとう結ぜ。異結く。陸奥ぜ。陸奥ぜよいえ
膝ぐむちくりめるうみくちり。世ち敗ぜ武
人ぜ。猫書仲ケちのうれうみあくくりりる村ふ。
あるく自家ぐくて流ちよけ三ぐりやくくて毛
とちふ。宮河庶の宮ぐぜぶるいむりりけふ
結くぐとあくくちうとちくぐとうれ敗中れれ
山鉛れ結ぜ。ぐちちりやあく猫ちる結ちけ結ち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

らぬ山ぶしなどもいとあさましくつけしらぬ。
[illegible]ども八雲立言葉出雲を
[illegible]

菅原道信朝臣

四位の。九条右丞相師輔の孫。恒徳の[illegible]
[illegible]男也。母[illegible]の女。[illegible]中納言師輔の男
[illegible]業因関白道兼[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

あけぬれば。[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右近大将道綱母

[illegible]。道綱母。中納言長良の三代後の位下[illegible]孫

右馬門佐倫寧母。母山城守恒基女也。京三条人道
兼家五号堀河殿摂政之室。朝古今歌人。二人母也
大後之二子。長男奥ち倫寧乃めしれむすめの服
ゆておつさしへ。乃羅しきこゝろ。出納ちゝ。ありて。
名ちねけたち一日見ぬ毎ちきいめしる。分乃上ちに
おりしれいけ敷。のかよいのいとかどのつち
あじうきつめく情晴昆ちとづけくせるいろめ
ちつゝ。○晴昆見ちあつ。に門そくあつのさる
しきあつ。ものしり物しあ。どちひくなけおつ。ひしり
ゆるれと伝ちいけてうくちくうけひしちきに
ちしち

なげおつ。ひとりぬれおよ四あ
ないふ久。きものしう生る

拾遺集恋四。入道摂政兼家。まつりるけるよかとと
おるくあけ。まいばちちづひめとつ入て作りけ
ゆてばよみくゆ。あれるゝ

立わびちみていちくあり人ふ心ちに伝しの心く
なげおつ。とぬ。ぬ袖ぐんれのこいと弁弥ぐ。ち心
ちぬ物ち。詞ちよのきしうけ。門とわくちち。立ちば
ちよ。伝ちぬ。歌つ。ひとりめしよの四れちそいうばうち
ちしよ物しちあげりちぬ。たに。ほりめ。ちれの心。路乃み
久字喜原。ゆて。ちち物なる。詞ぐ。ちと。高ゆの。新伝て
かゝ。新弁。出ち。ゆ。一。伝伝。ん。のきこ。ありゝ。ちゆて
伝ちゝ。しゝ。ぬ。ちゝ。ぬ。ちゝ。ぬ。ち

あつまりおりて
[illegible]

儀同三司母　新蔵人侍貴子　他本ハ紀氏　高内侍後拾遺

四位ニ成高階業忠後号高二位　女也。中関白道隆ニ云。
儀同三司伊周公。中宮定子ノ兄也。　○古人ハ美男ハ色黒ニ云中関白
ニ内侍ニ成テ母ノ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

初めくあつてくるしう侍りしかども。さ侍りて
さてくるる事いとうれしくおぼえ侍りしかば
たりしかばくるしう侍りとも。かれうとい
むむ侍りくるしう侍りとも。山形の
行くべし。それくやうきき寺乃風俗なり

大納言宮任

山形の。小野宮右大臣実頼の孫。三条右大臣
大臣頼忠の嫡義孝より也。母代明親王女也。権大納言
正二位に。右近衛の。播磨守大納言にて。小野の
宮の孫なれば。

よしなしごとうかうかとよみあげくれば。○八雲山形の
ぬちくしむこの社をつぶくしてあるよりくるしうこそ
のちいろれ。人とかくみるこれこそ
ぜんぜんよみこの山堂道もこの大井河
と。かくあるを。小野宮。而山堂と作る。四條大納言
何の。毎くに可笑。小野。大納言。可笑。和歌。
以外。乃風のをくれたるとぞ
ぶとき。○古人若風。この花の花枝をこの
人つきくに作れるふ。大納言
ぶくくく

和漢朗詠　拾遺抄　○八帝嵯峨第二皇。拾遺。古流の作を拾撰し抄。一抄条に花山院。拾遺抄に入る。

金玉抄　小山抄　世に人名伝記撰集

滝乃とゝいかなるとてくゝなりぬるぞ。あるう流れてく物ゆゑの人れ

拾遺集雑上大覚寺小人とゝのまうしうりけれ

ゆうき滝とみくよみ作りける。○拾遺集詞書に大覚寺小人とゝのまうしうりけるとあり。

しゆうのくゝれる。いとゝ滝のさくゝ。みよ載集雅上小

ちられぬる。書。ゆくゝ物ゆくゝ。なれば。ゆくゝ。ゆくゝ。

でゝ。みあれ。ゆくゝ。ゆくゝ。ゆくゝ。ゆくゝ。

られ。ゆくゝ。ゆくゝ。ゆくゝ。ゆくゝ。ゆくゝ。ゆくゝ。

大覚寺拾芥抄。遍照。

不ゝ。今大滝乃ゆゝ。

殿ゆゝ。○山抄。大覚寺。ほゝ。大覚の宮の。滝殿と号せり。嵯峨天皇著目。閑殿の地なり。河海抄。書記。正月内殿

主嵯峨宮女源和尚　承和七年十二月入滅　後撰和崩也　夏歌十八年二月

廿五月。嵯峨院為大覚寺。奉号。和尚。居菅家御集

山抄。大覚寺。由。

山抄。大覚寺。滝殿。

ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

てよゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

くゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

世ゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

なゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

ゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

○滝殿。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

和泉式部

上東門院女房　号二条内侍

○玄宗雅一。和泉式部。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

上東門院

[illegible]

和泉国道貞書[illegible]

式部卿[illegible]

大納言[illegible]式部赤染何時[illegible]

論式部[illegible]

[illegible]

第式部日記云。第式部[illegible]

[illegible]

[illegible]

道[illegible]

拾遺集　性空

[illegible]

[illegible]

○[illegible]の所[illegible]阿含経云。當知有四種人。有一種人。從冥入冥。有一種人。從明入明。有一種人。從明入冥。有一種人。從冥入明。謂有人。[illegible]家若[illegible]婆羅門家魚獵家及餘種種下賤工巧業家貧窮鬼類[illegible]復作[illegible]身口意惡身壞命終當生惡處捨惡受惡故名[illegible]

髮毛爪齒皮肉筋骨髓腦垢色皆悉[illegible]於地[illegible]涕唾[illegible]血津液涎沫[illegible]身黄在何處[illegible]大和合所謂[illegible]風四大[illegible]離[illegible]春妄[illegible]

[illegible]

[illegible]ばかりとぞ。あるべしとぞ。なほ人といふよりは[illegible]
乃かとぞ。来世なり。呼法師あり。心ばかりてぞ。[illegible]
なくあるべし。来世まで乃おもひ。今一度あり。
きしくなほ[illegible]やうなくなりぬと云心とこめて[illegible]
云あるべし。○[illegible]人と云[illegible]
[illegible]なり。今一度[illegible]
[illegible]

紫式部

号紫式部　上東門院女房　源氏物語作者

御堂寺元祖良門乃末。中納言兼輔乃曾孫。越前
守高時の女也。母摂津守藤原乃女。大納言伊宣卿
に嫁して大弐三位を産とやう。河海抄云。[illegible]

小方従一位倫子左大臣雅信女の宮女なりしを[illegible]
院に仕へ[illegible]。紫式部と云二説あり。一説は源氏物語の中に[illegible]
とけるを[illegible]乃[illegible]
乃古乳母のやうなる上東門院[illegible]
ゆゑなりとの[illegible]
[illegible]
[illegible]一説[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

新古今雑上　そやくよりわらはあぐちてゝ行りるゝ人
ものゝ上にてゝく行あひ　ゝるうかれうわく七月十日月ホ
きりゝくかゝつゝ行りるは　けゝ生ゝ

はやくもと　雪間より　の心　○月よきゆゑとゝ六月の歌
いうきゝゆゝるとゝ雅家まこゝろのさいぐゝてきゝとゝいうゝるゝ孟
津抄云面ゝうゝいうぎうゝるゝ　ゝ安信歌屋ゝ　こゝうゝぢ
やゝゝどゝをゝをぬゝばゝ月れあれあたゝ
ねゝうゝきゝうゝひゝあゝんゝうゝし

このゝゝは　わすゝるゝよゝかゝどゝは雪ゝ井ゝふゝなゝりぬゝるゝも雪ゝ行
月のゝぐゝるゝまゝあゝつゝまゝぐゝは　けゝゝゝりゝゝゝ

大貳三位

号辨局 河海

ほうきの内大臣高藤の権中納言の孫。右衛門佐宣孝の女。母紫式部。大貳成章が妻となる。仍て号大貳三位。後に大貳国章が妻となる。ほうきの一条院乳母。後に紫式部。おなじ院乳母三位。狭衣物語や源氏物語をかくべしおこなれ称号をとれり

ものあはれ山いおれさを風ふけばいでうよりの人をこそ思ひやれ

ほうきの三位こかれくるおもひをこれなぐけるなとしひ

よりけるかよめるを

あぐけるかくとぶおもひのかくまりかれぐるよりてうをて三位をとぐしくわまをやわれてうんだがけるなきをとしるを。

ほうきの内大臣山ぶき名野ぶきはむれあるかなるいでうとハ笹原ふく風のきれるをもとうしいけくいでうれをと知ぐいぞと。ほうきをわが心と紀てはいでうるを「いでうるをのみぐよりきこ○をとこ思ひ出でくれうて心をくるをあり方いで我と人をとぐうるなるごこよりう○をとこ一いく我と人をこうるあり なるとハ なるとハいとんぐうの庫ぐ方心をいぐくうよりをと云れやハすれとかれぐくなる男のうをくあぐけるきなぐいつれと恨くわが心を述出をるを○うをといをれをもとうを知んぐをこの我をやわをまをうんかはつるきをいつを面

[illegible]れわすれてうんといそ[illegible]かくいへれ内[illegible]人と
うのわ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

をのゝくこざりくれたるをめてこゝ。ゆ絹して五本丸型
ゆく代衣苔ゆゑ。中國白彼只寸女忘給後。彼女奉云関
白暮巻上南面簾詠居共同直衣人宇来。香甚女有
悦心會合其後夜〻来。但暁々牛車馬音。長袴着針着直
衣袖朝此緒留南庭樹上其後無来事是魅ゝ所為歟
又懐姙臨期產一胞夜用見之多有血無他物〻 見赤染記
やすらいでとゝ猶稼せずていねんのをとゝ山おろやゞ
ても祢ずてゝやゝまちやまゝしゝ事とゝ海し
たゝも。ゝ心ゝ。ゝ。ゝ。

○去今年間云。去二修殿。小式部内侍と申すを。日ごろ侍ふ
[illegible]
小式部内侍は。盛[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

師説大江山を丹後路にいまはかりなるねのうつるみゆるなり。新古今に「大江山かさすく月れてけさしてきねの田代西にかたるとかの野を丹後の奥なり。大江山峯野とは[illegible]

[illegible]

[illegible]

師説云。丹後は一名人はかりにあんやはかりひいやうぐ[illegible]

[illegible]

[illegible]

泊花楽賀一。一条院内裏の八重桜をひらの
まうられ。をおくれおくれ咲けるを歎みく
るよめし作ごしのもとにたてまつれ
ぬ。伊勢大輔上東門院中宮に初て宮仕
うむすめ。あくるもしらんと心わくらんとその日八重桜咸人
進ぜ。紫宸殿のおもてにたてまつれ
けりとて。殿上人。伊勢大輔を呼出
国とつけくいうがやとて。
歌をよみてすゝめ。
て。
高中敷詠。又彼人賀一のうたきこゆ。卒尔なる

まうづる事。歌ども。紫宸殿の桜きこゆ。泊花楽
乃泊花の一条院の時おとゝのまうけなりゝ。
奈良帝の御時元明天皇より光仁まで七代乃御
都なりしかば。
これをかしあしかりしを。
あつれこゝろをぐひりに。
九重しいつれ雲井をこれ
にあらりて。
清少納言 用二藤宰相説孝清女納言一 枕草子作者
信原深養父孫。元輔子也。一条院宮仕定子

中関白道隆女の如子内侍の歌景金葉集八月
八月十五夜月を保昌と共に見て
[illegible]
[illegible]
[illegible]

大京大夫道雅　童名松君　三位中将藤原頼宗

仲内大臣伊周ゐ。母大納言源重光女。天延二年七月廿六日。俗名ゆ。道雅。三位中将。仲内大臣殿の長男。八条の山荘の傍ゐ。ゆ。住まひ。ゆ。ゆ。ゆ

中ゝ弱れるをとくするものの事。これが弱れるねとゝ
ゝれば、ものゝ弱もなるべし。強く来ゝるゝ国弱りく
ゝとゝなりぬ。史記列傳十六番 [illegible]
ゝれくこの[illegible]ゝゝゝゝゝゝ。○[illegible]
のごゝゝやゝゝ、函谷の関
関れごゝゝやゝの通 わゞかゝふ心のゝゝぬゆゝの[illegible]
乃ちゝなり。そもゝゝ坂れ関ゝは。行成函谷関納
ゝ函谷れるゝゝいくゝ[illegible]ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ。よ中ゝうゝゝの心ゝ行成のゝゝゝゝ[illegible]
○内のゝゝゝゝゝゝ。ゝゝゝゝゝ禁中のゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝ悩ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
中有桃林其下有一丈鬼王号物恩其鬼王過他鬼神不寄妄大鬼神
王誓願利益六種有情宝五名号者若人宅物怪魔魅悪鬼可蒙
諸凶害ゝゝ時臨其日書吾名号立門其故他鬼神不令来入書吾名号持

四人二十一

なりしゝれゝばよみ侍りれゝゝ
愚案ゝ密通れゝゝ業ゝ花梅沈玉村業[illegible]。ゝれ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ一宮安常ゝ門歌ゝゝゝ
あゝゝゝあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
師匠ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
なんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
心ゝゝ。ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

みちのくにをさめとりて移やこれをみぬまでこんまどうに
神ぶやゆゑでけるものの名を押入てもわるころかと
流やい人なりのこぶ法師なくさめがあ
このみいきうざる趣心見志在中詞題外之謂歟 下略

雅中納言定頼

天納言公任の一男。母昭平親王女。西行法師と同年
あり。人となり美麗にして道せてもの山居のよ
ふ載集。寛治二年正月十八日薨
新古今詩歌乃門書抜こうのいれ流る影の網代
ふ載集。寛治乃門書抜こうのいれ流る影の網代
ふ載集。寛治乃門書抜こうのいれ流る影の網代

網代年ゝ水をとる抜。近江の国上河わくられる
水をと。寛治ゆくこうる。○延喜内膳式に山城近江国網代各一處
其永典始九月迄十二月三十日貢ゝ
ゆくはやうく時移ゝ寛治門は流ゝ乃網代は彼
わるゝ京をなり。○寛治。時ゝ山ゝ水ゝ河ゝ
時ゝ流ゝ乃おゝ
眼をお花眺ゝ
きゝる四季ゝ人丸の ふ載集 武士は八十ゝ山の花あゝ
ゝいぞゝ流乃山紫ゝ ゝ山のとゝ
桐模 号侍従 ほ拾遺ふ載集
仏ゝ神ゝ。源頼光女。○人家連哥源頼光の娘ゝ
とりゝ時雨のおゝ

[illegible]

大江ノ資業ノ妻ニ高相模ト云フ

入道一宮女房ト云フ

○[illegible]

[illegible]

愚案ニ資業ノ存生ノ時言ヒ出シ兵部ノ信ノ輔

[illegible]

小野宮殿ノ[illegible]

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

相模ノ[illegible]

[illegible]

[illegible]

うらみてもいとはれぬるみをかなしみ
ぬるかの乗[怪]あまをぶねのいつるをみて
○山おろ
ふくちきりあくるうきをはらふ
ちうの事
ちかのはかなぬ神にあらぬものと
呼[ヒ]続[ツ]ぬ
みくまのぐうとあるのきこ神社やうくちゆけばさくし
かくうよ人ゆうりかいるのき神とぐしさくおるぶそうきき
五ゆ[ゆ]あさと[と]ぐ[ぐ]ぐ[ぐ]ぐ[ぐ]ん年よりとしのあ。
年ぐ[ぐ]ぐ[ぐ]永禄六年五月六日　敵上の寺合　あまぐ　五　尼[ニ]
相模　うみわびかさぬ神ぐしにあるこの城、——
右　名近お将源経俊卿
こうせぐ[ぐ]やそくしれうげ乃ぐれ[れ]ばこのるか
八幡宮社[ヤシロ]内右[ウ]記[キ]録[ロク]　也家つ　歌[カ]唐[ウ]　筆[ヒツ]唐[ウ]小[ヒ]画[ヱ]

四ノ二十四

別れよりはかの合のかよわつる

大僧正行尊[ギヤウゾン]

三井寺圓満院[モンイン]祖師　天台座主
○家[ケ]伝[デン]明行の門弟[ヒ]三[ン]井[ゐ]寺[ぢ]門[モン]跡[セキ]

三[サン]井[ゐ]寺[ぢ]院[ヰン]曾孫小一条院[ヲ]孫。参議基平[モトヒラ]卿[キヤウ]孫。三井寺[ゐ]
第[ダイ]五[ゴ]院[ヰン]保安[アン]四年任[ニン]遍[ヘン]暦[レキ]寺座主[ザス]修験[シユゲン]名徳人也[ナリ]　○古今集
俊[シユン]恵[ヱ]僧正[ソウ]の門[モン]弟[テイ]　一条院の御孫行成宰相の子也　母[ハハ]は藤原中堂の家
ましまけるを小三[サン]位[ヰ]殿[デン]と申[モウ]す十七[シチ]年[ネン]の間[カン]師[シ]の家[ケ]にて修行[ギヤウ]ゆゑ
して懐姫[クワイキ]なりし十八年[ネン]の春[ハル]ぞ[ぞ]ぞ[ぞ]ぞ[ぞ

院ゐけぐき復相傳ゆくえしらずなる。禁秘抄ごとき何後
白河行尊僧正風夜何候定候御陪膳ごとき抄云
或説白河院猶ゐまく。元亨釋書ゴ後朱雀院時。藤景
殿女御迎ゐ乃書ゐ曲ゐ。○五七ゐ同釋ゐ抄云書ゐ
悔聽れ心ざし
ゐまゐゐ

ゐゐにゐゐれゐ山櫻花ゐゐゐ人ゐ
金ゐ鞍ゐ。ゐ花ゐ。○後世ゐ花ゐ
ゐゐ。ゐ花ゐ人ゐ
ゐ櫻ゐ
ゐ櫻ゐ
櫻ゐ乃ゐ遅ゐ花ゐ人ゐ
ゐ。ゐ

けぬ櫻と深山ゐれ中ゐゐれどおりゐ
ゐ心ゐ。ゐ櫻ゐ花ゐ。ゐ花ゐ人ゐ
花ゐ人ゐ。ゐ心ゐ。ゐ我ゐ
ゐ心ゐ人ゐ。ゐ心ゐ
ゐれ。ゐ。ゐ心ゐ
乃門ゐ。ゐ。ゐ人ゐ
ゐ。ゐ。ゐ
ゐ。ゐ。ゐ
ゐ。ゐ。ゐ
ゐ。ゐ。ゐ
ゐ。ゐ。ゐ
ゐ。ゐ。ゐ

以ものとかしてうちくくなる

園殿内侍

号仲子　後冷泉院女房　但馬親王　赤白河院女房

出羽ニ。一説式部ニて菅原孝標ノ七代孫。安芸ノ守重義孫。
園殿守綱仲女ニ。大系園同ニ。但者郡ノ。園殿守棟仲
女ニ。袋草子ニ。堀河院ノ中ノ宮ノ方ニ今後給ふ
美人永実ト云ふ。出羽ノ事歟。堀河ノ中ノ宮ノ方ニ
ておいたて作あるに。高くすぐれ中ノ宮ノ園殿内侍
給りきこえ小大臣殿と云ふ。後ハ堀川院
の女房ニ。出羽ノ式部ニ。こうるゆ。園殿
内侍ハ。彩の三のぶ。法ニ法名。法名乃

堀河小しあるの間ニ。後世絶。堀河家○後世絶ニ堀川ノ
ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。
乃ちこのおぞこのおぞこのおぞこ。内侍ハ。園殿ニ。人ハ。
ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。
ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。
乃内侍ハ。園殿ニ。人ハ。ちくれよわ。ちくれよわ。
ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。
千載集ニ。きこえ。きこえ。きこえ。きこえ。
人ハ。ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。
乃内侍ハ。園殿ニ。人ハ。ちくれよわ。ちくれよわ。
大納言忠家ニ。ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。
ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。
二条院拾芥抄ニ。二条南東洞院東。遺老ニ。二条園白河
領ニ。忠家ハ中納言後忠ニ。後家ニ祖父ニ。
出羽ニ。袋草子ニ。ちくれよわ。ちくれよわ。ちくれよわ。

義あるべし。かの中ちかの乃ふまれみづからおいぶの義ゆえ
を抜て曲なれども[illegible]とおごさんをこのひなりとぞうのく
とうの[illegible]脱[illegible]くしたれば[illegible]愚案中
古乃方にてやうの組をとるべきものくよむる事。[illegible]
組をくぶくしくきこゆる[illegible]組なほ世に[illegible]
しめうそちへてとはうとうのうばしの出行[illegible]
[illegible]れりつぶよかやおとといふかひらまゆうよかなとぶよ
出[illegible]がくらうあ一ぬれかりかれる[illegible]
道綱の乃母はいふ小ひなしきと[illegible]小式部のまぶこみを
[illegible]ぶ[illegible]伊勢の[illegible]九[illegible]門行[illegible]
[illegible]といつる皆同小[illegible]くの[illegible]乃道[illegible]

[illegible]女[illegible]方[illegible]て[illegible]
[illegible]くも道[illegible]とかうれ不[illegible]
[illegible]てはなりがたうぞし

六十七代　三条院　諱居貞　在位五年

冷泉院第二皇子。母贈皇太后超子。東三条入道摂
家の女。天延四年正月三日降誕。寛和二年七月十六日
東宮（今日元服十一歳。寛弘八年六月十三日受禅廿六歳。同
年十月十六日即位。長和五年六月廿九日譲位。四十一歳
寛仁元年二月廿九日出家。法名金剛浄。同年九月朔日崩。四十二歳
[illegible]
[illegible]

めつらしき月のあるうとけるくと出給ひてら
出給ひし帝は出国と形ち世をひしく。古孫の事ふく出給も
ひとせうしまあ方法ら出給ひ出国と出給ひ出給ひ
こういつみどりうと。みを出やとしの金猿形ら夢と
めとらるとそうとうとうひとれ人をかくめとなやむ。
ようせしじまうとい拒弄問位ながとのけふあつれく
ようあるぬうびのるくれれねとうちあるしゃうふうち
ねんらこうとれようしゃ出給ずこうとうやれられく
心ゆしのでとぬ。心れみとのむく。○私案出家命もかうと出給
しの義。出家。哥乃ゆうこれ出遠俗ゆ。う出給とうちんと
あるりめとれ。うこれ命もなるくさせ給ひぬ。山梨

中乃月いうむうの立つくあるりめさまうとうも
○紙数を月いうむうも行れと
雪のこれ月これ行ふきふうう　山みどは出給とわけるあも
あくゆくまるとうくうとうとうと

播諸国に末孫播志望孫。肥後守元愷朝也。元瑄
任長門守。西海道に名を馳せ。能因法師
伊豆に流れ給ひ、「月かげの入るあなたにせばしとも
ながめぬ山の端の月」と詠じ給ひしとかや。
愚案その門流の今様ぶりに花園新院ふぐて伊
勢物語の「ちはやぶる神代もきかず竜田川
からくれなゐに水くくるとは」とかやの二句をいい
ふるしたるぶりにて、ぶりぶりしくぶりぶりしく
いのりとさぶらひけるとぞ。かるがるしくとれい字能因法師
よみ給ひ一宴よりつせ給ひ面白の事ども
ありしとぞ。家集そこなはれかし
○なを著聞集に能因入道伊勢物語の実綱に使いて
ありしかば日くれてとまり給ひ侍りしに

和歌のまめやかなる道にすぐれ給ひ、
「月のかげ」の門流にて、
「ちはやぶる」の家風を伝へ給ひ
しとかや。
○能因は摂津国の人。
○なを著聞集に能因入道伊勢物語の実綱に使いて
ありしかば日くれてとまり給ひ侍りしに

能因法師、和歌の八者よりの弟子にして能因歌学
と号す。肥後進士と云ふ。
能宅、第一車輪橋、早稲、東風、その名。
家、面舎と紙宿と称して志賀に遇ふ事
有ればとて其由を問ひ給ひ能因を何様
可論作法哉。

あるべからざるうつり可申哉と存じ
自讃師匠に。又云。然因古歌より毎年花を
上洛して。宿大江資房卿の東洞院家に伴申
南庭に有樹高数十丈花を資房の孫と仲丸は常に
云数寄の人。すきめれいの法ぞと。又作図史
図絵とも陸奥より向白河の関すぐる日、
なほ紫宋とぞ思ひ。人間の何等の物
ぞや。昔古歌の人の花風の白門の世に
まれなるをとぶらひて襤褸ゆくへを。雖然
なほ因実不下向奥羽葛藤に霧結庵し
て下向奥羽を由風国を。二度下向を由あり。於

一度大宮を出八十路花を。又云。加久夜長帯刀
節信を数寄者也。始て逢然因互有感緒然因云
見糸乃引出物とて錦小袋を。中に銘層一筋あり。示云。
錦小袋をわが重宝なり。長柄の橋なる紀の絶
屑やうく平時節信喜悦すく又自懐中紙を
作むとて引物をとり。開て見て。かれる蛙なり。
色い并に紅の紙を作て共に感歎して古懐を
退散とぞ

嵐めく三宝乃山れ有ぶ八五田の門乃あ紀るの
長拾壱年。永暦元年内裏乃哥合を。奇心を所

流風のこゝ三宝乃山れとみちゝ
乃ちゝくゝおゞれまゝくゝ立田川の岸とみゆゝるゝちゝと
いとで流さまゝる風情とゝゝせゝれ。雖因の形骨なゝる
づゝ西拙ゝ山ゝ古今人丸れ歌ゝ立田川あゝでな
ゝれ神南備乃三宝れ山ゝ河白ゝるゝしゝ山そゞい只
河辺乃京乱と木のさゝゝとれゝゝいゝゝせゝ人作れ
づきなゝ物のゝちくゝと流ゝるゝと分乃形骨也。そゝゝ
まゝゝゝゝゝ上古れ正風体なゝるゝゝ